



落合 康之 議員

## 市民アンケート調査について

**問** 今回のアンケート調査において①現在の市民ニーズは把握できたのか。②その結果をどのように政策に反映・移行していくのか。③自由記述はどのようなものがあったのか。また、その記述に対する古河市の考えをどのように市民に公表するのか。

**答（企画政策部長）** ①今回のアンケートは東日本大震災や社会経済状況の変化等に伴い、市の

抱える課題も大きく変わっていることを踏まえ、改めて現在の市民ニーズを把握し、20年後の市を見据えての内容とした。若年層の意見を多く把握できたという点からは意義のある結果を得られたと考えている。②調査結果を分析し、実施すべき取り組みの優先順について参考にしていきたい。③意見として「若い世代が安心して暮らせる社会にしてほしい」等、369件のさまざまな意見をいただいた。現在政策分野ごとにまとめている最中であるため、整理した上で近日中に公表させていただく。

**（再質問）** アンケートの交流拠点の整備に関する選択肢には、文化施設やショッピングモール等の商業施設とあり、1つを選

択するよう書いてある。アンケートの結果では43.7%がショッピングモールであるが、率先的に内部で協議されているのか、あくまで質問をただけなのか。市長の所見を伺う。

**答（市長）** ショッピングモール等は1つの提案として掲載したことをご理解いただきたい。アンケート調査の結果を民意として真摯に受け止め、今後のまちづくりの方向性をしっかりと見極めていきたい。

開発の進む  
古河駅東部土地区画整理事業

## 総務常任委員会 行政視察報告

**期 日** 平成 30 年 10 月 3 日から 10 月 5 日  
**視察地および調査事項** 福岡県大野城市  
ワンストップ総合窓口「まどかフロア」  
大野城心のふるさと館  
山口県周南市  
徳山駅前賑わい交流施設および駅前図書館

当委員会では、福岡県大野城市、山口県周南市を訪問した。

大野城市のワンストップ総合窓口「まどかフロア」は、市民満足度向上のため窓口業務を民間委託し、市民の利便性向上、職員の業務負担軽減や人件費縮減を図るなど古河市においても大変参考となるものであった。

大野城心のふるさと館は、地域・観光振興での多面的活用が期待される施設であった。

周南市の徳山駅前図書館は、指定管理者として民間事業者のノウハウを活用した新スタイルの図書館で、まちの賑わいと交流の場を

提供するなどの創意工夫を生かした運営を行っており、古河市においても多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応していくため大変参考となるものであった。



行政視察（周南市 議場）